

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	英語 I B (English I B)					担当教員	広田 秀樹 (ヒロタ ヒデキ)		
科目コード	111007-14000								
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	通年
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
英語の読解力・スピーキング能力・ヒアリング能力の基本を身につけることを目標とする。具体的には、第1に英語の言語構造・文法の本質を理解する基本トレーニングを徹底して行う。第2に英語のスピーキング能力を上げるトレーニング、第3に英語のヒアリング能力を向上させるトレーニングを実施する。第4にTOEICテストへの対応力をつける学習を行う。授業内容は中級レベルである。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力。									
③ 授業の進め方・指示事項									
<ul style="list-style-type: none"> <li>●英語学習は、確実な積み重ね型の学習なので、毎回の授業内容の十分な理解と定着が重要である。授業内トレーニング、課題等に意欲的に取り組むこと。</li> <li>●長岡大学米百俵ドリル「スタンダードコース」での自習も忘れないこと。</li> </ul>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i)英文法の基本事項が理解できること。(長岡大学米百俵ドリル「スタンダードコース」の学習を含む。)									
(ii) スピーキングとヒアリングの基本が理解できること。									
(iii) TOEIC に関する基本的学習ができること。									
⑥ テキスト (教科書)									
学習資料を配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
Jonathan Lynch, 委文光太郎 (2020) 『英語で考え、英語で発信する 2』成美堂									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法									
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計	
総合評価割合	50%	15%	10%			25%		100%	

(i) 英文法の基本事項理解 (米百俵ドリルを含む)	20%		10%			10%		40%
(ii) スピーキングとヒアリングの基本の理解	20%	10%				10%		40%
(iii) TOEIC 基本対応	10%	5%				5%		20%
フィードバックの方法	試験・小テスト・課題は助言をつけ継続的水準向上につなげる。							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)	
英語は、グローバル化時代に生き活躍する使命を有する未来ある若者にとって、マスターすべき世界語である。英語基礎力を固めつつ、一流のトピックスを扱った英語資料等も紹介したい。	

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間 (分)	
1	イントロダクション・英語の特徴		英語の特徴に関するレポート作成	120分
2	英語の言語構造の本質	配布学習資料・課題資料	配布資料関連自習課題	120分
3	文法理解トレーニング I	配布学習資料・課題資料	配布資料関連自習課題	120分
4	文法理解トレーニング II	配布学習資料・課題資料	配布資料関連自習課題	120分
5	文法理解トレーニング III	配布学習資料・課題資料	配布資料関連自習課題	120分
6	スピーキングトレーニング I	配布学習資料・課題資料	配布資料関連自習課題	120分
7	スピーキングトレーニング II	配布学習資料・課題資料	配布資料関連自習課題	120分
8	スピーキングトレーニング III	配布学習資料・課題資料	ヒアリング自習課題	120分
9	ヒアリング I	配布学習資料・課題資料	ヒアリング自習課題	120分
10	ヒアリング II	配布学習資料・課題資料	ヒアリング自習課題	120分
11	ヒアリング III	配布学習資料・課題資料	ヒアリング自習課題	120分

12	TOEIC 対応トレーニング I	配布学習資料・ 課題資料	TOEIC 自習課題	120 分
13	TOEIC 対応トレーニング II	配布学習資料・ 課題資料	TOEIC 自習課題	120 分
14	TOEIC 対応トレーニング III	配布学習資料・ 課題資料	TOEIC 自習課題	120 分
15	前期まとめ	配布学習資料・ 課題資料	グローバル・トップレベル・トピッ クス関連資料に関するレポート	180 分
16	文法応用トレーニング I	配布学習資料・ 課題資料	Power Base 自習課題	120 分
17	文法応用トレーニング II	配布学習資料・ 課題資料	Power Base 自習課題	120 分
18	文法応用トレーニング III	配布学習資料・ 課題資料	Power Base 自習課題	120 分
19	スピーキング応用トレーニング I	配布学習資料・ 課題資料	Power Base 自習課題	120 分
20	スピーキング応用トレーニング II	配布学習資料・ 課題資料	Power Base 自習課題	120 分
21	スピーキング応用トレーニング III	配布学習資料・ 課題資料	ヒアリング自習課題	120 分
22	ハイレベルヒアリングトレーニング I	配布学習資料・ 課題資料	ヒアリング自習課題	120 分
23	ハイレベルヒアリングトレーニング II	配布学習資料・ 課題資料	ヒアリング自習課題	120 分
24	ハイレベルヒアリングトレーニング III	配布学習資料・ 課題資料	ヒアリング自習課題	120 分
25	TOEIC 対応トレーニング IV	配布学習資料・ 課題資料	TOEIC 自習課題	120 分
26	TOEIC 対応トレーニング V	配布学習資料・ 課題資料	TOEIC 自習課題	120 分
27	TOEIC 対応トレーニング VI	配布学習資料・ 課題資料	TOEIC 自習課題	120 分
28	英語圏と世界を知るための資料学習 I	配布学習資料・ 課題資料	英語圏関連学習資料に関するレポート	120 分
29	英語圏と世界を知るための資料学習 II	配布学習資料・ 課題資料	英語圏関連学習資料に関するレポート	120 分
30	まとめ	配布学習資料・ 課題資料	グローバル・トップレベル・トピッ クス関連資料に関するレポート	180 分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。講義で毎回の学習課題のコアを理解し、授業外の自習によってそれらコアの徹底した定着をはかる。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性